

## IDD さんミャンマーでのご活躍を！

当協会の国際奨学生として、京都大学・農学研究科・神崎研究室で研究を進められることになった、IDD さんを昨年 10 月京都にお迎えしました。1 月には京都支部の新年会にご招待したのですが、ご本人の体調の為、ご一緒することが出来ませんでした。

その後、3 月に東京で研究成果の発表、3 月末に帰国の予定でした。ところが、本年 2 月ごろから日本に広がり始めた新型コロナの感染拡大によって、成果の発表会は中止、論文のみの提出となりました。ミャンマーへの帰国も二転三転して、早まり急遽、3 月 20 日深夜便の出発となりました。

神崎先生と連絡を取り、出発当日のお昼にお別れ会が出来ることになりました。神崎先生、IDD さん、ミャンマーからの留学生、京都支部からは支部長、松尾会計、佐賀国際委員、松田書記の 4 人で計 7 人の参加でした。IDD さんに **Final Report**、研究内容について説明をしていただきました。お話の内容の理解は容易ではありませんでしたが、これから現地の森林の保護管理に大いに役立っていくことと思われました。

約半年、日本で過ごされた IDD さんは、前にお会いしたときよりは随分落ち着いて、お美しく見え、お話によりますと本国では大学の仕事などお忙しかったのに、京都では、研究に専念できたことをとても喜んでいらっしゃいました。きっと充実した研究生活を送られたことと大変嬉しく思いました。

京都支部長 高橋侑子